

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和6年9月27日(金)  
感染症対策センター  
(衛生環境研究所)

## 令和6年第31週から第35週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(31週～35週)5週 (R6.7.29～R6.9.1)	前回(26週～30週)5週 (R6.6.24～R6.7.28)	前々回(21週～25週)5週 (R6.5.20～R6.6.23)
1 新型コロナウイルス感染症 (1,773) [↑435]	1 新型コロナウイルス感染症 (1,338)	1 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (920)
2 手足口病 (466) [↓87]	2 手足口病 (553)	2 感染性胃腸炎 (462)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (465) [↓51]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (516)	3 新型コロナウイルス感染症 (408)
4 感染性胃腸炎 (251) [↓64]	4 感染性胃腸炎 (315)	4 RSウイルス感染症 (195)
5 RSウイルス感染症 (168) [↓94]	5 RSウイルス感染症 (262)	5 咽頭結膜熱 (171)
6 その他 (224) [↓123]	6 その他 (347)	6 その他 (292)
(合計 3,347)	(合計 3,331)	(合計 2,448)

※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減

全体の報告数は3,347件であり、16件の増となった。

増加した疾病	減少した疾病
インフルエンザ 161%	ヘルパンギーナ 56%
新型コロナウイルス感染症 33%	咽頭結膜熱 47%
	RSウイルス感染症 36%
	感染性胃腸炎 20%
	手足口病 16%
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 10%

### 3 コメント

#### 【新型コロナウイルス感染症】

県内全域に発令していた感染注意情報を9月4日に解除しましたが、依然として一定数の患者報告が続く、集団感染事例も散発しています。手洗い、換気、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策が有効です。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。

#### 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

県内全域に警報を発令しています。手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

また、まれにA、B、G群等の溶血性レンサ球菌の感染によって、突発的に発症し、重い症状を引き起こし、急速に多臓器不全が進行することがある「劇症型溶血性レンサ球菌感染症」が全国で増加しています。主に大人が発症し、県内でも確認されています。傷口から感染する場合があるため、土に触れた手などの不潔な手で直接傷口を触らないなど、小さな傷でも清潔に保ち、手足の腫れや痛み、発熱など感染の兆候が見られる場合は直ちに医療機関を受診しましょう。

### 【手足口病】

県内全域に警報を発令しています。飛沫や手指を介して感染し、便にもウイルスが排出されます。原因となるウイルスはアルコールが効きにくいいため、トイレの後やおむつ交換の後、食事の前の手洗いの徹底、換気などの感染予防をお願いします。

### 【百日咳】

6月以降、東部地区で小学生から高校生を中心に流行が続いており、注意が必要です。有効な予防法は予防接種ですが、ワクチンの免疫効果は4～12年で弱まってくるといわれており、乳幼児期に接種した方でも感染することがあります。咳などの症状がある場合は早めに受診し、手洗い、咳エチケット等の感染予防をお願いします。

### 【ダニ媒介性感染症】

ダニが媒介する重症熱性血小板減少症候群(SFTS)や日本紅斑熱の感染報告が続いていますので注意しましょう。マダニは春から秋にかけて活発となることから、野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。

### 【梅毒】

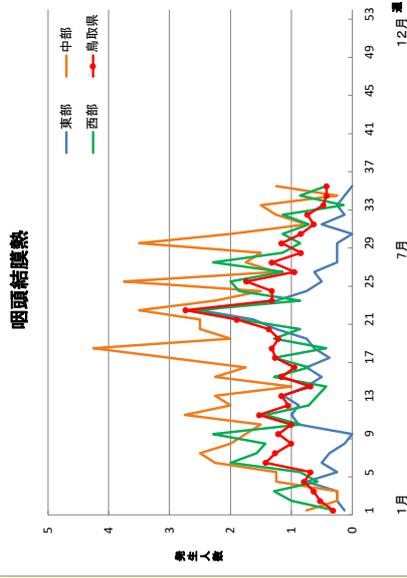
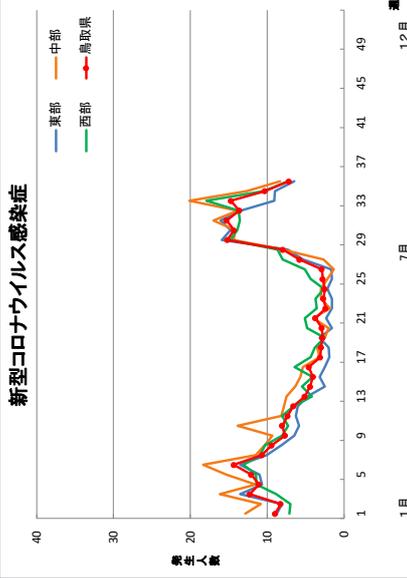
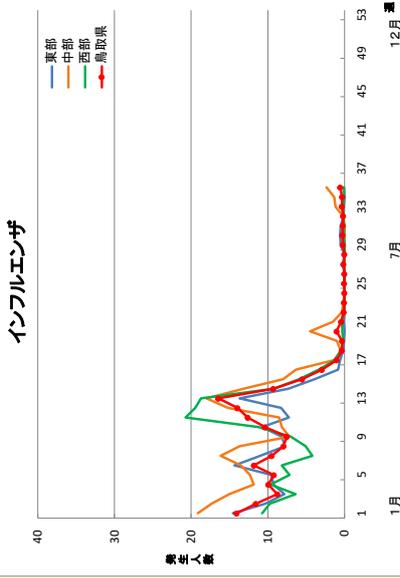
本年は8月末時点で昨年1年間の29件を超える30件の感染が報告されており、注意が必要です。感染した場合は、適切な治療が必要であり、早期発見することで感染症拡大防止につながります。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

# 令和6年第31週～第35週の報告患者数

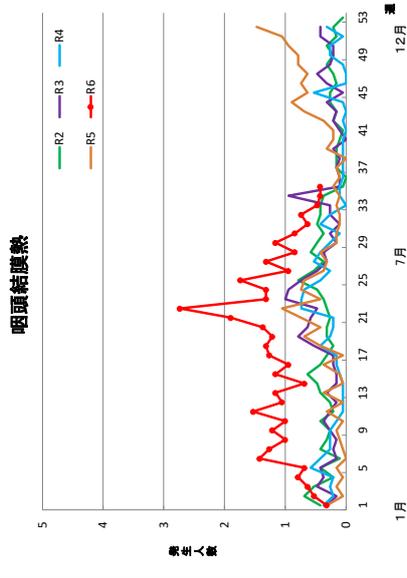
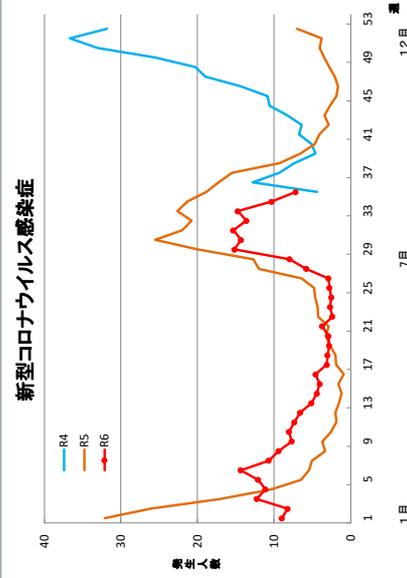
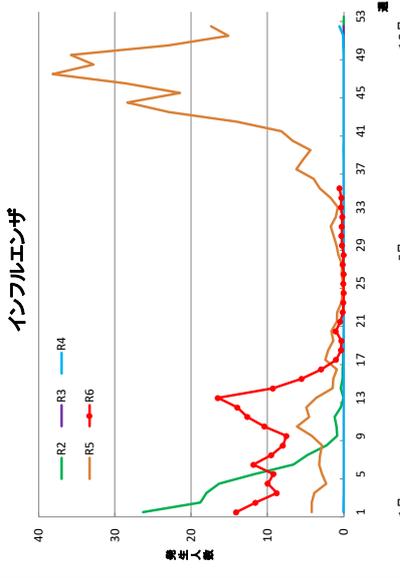
令和6年9月6日 作成

区 分	今回報告患者数 第31週～第35週(5週分)					前回報告患者数 第26週～第30週(5週分)				前々回報告患者数 第21週～第25週(5週分)				前回比 増 減	令和6年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	10	30	7	47	29	16	0	2	18	1	12	5	18	161%	4,843
2 新型コロナウイルス感染症	649	432	692	1,773	435	540	243	555	1,338	111	84	213	408	33%	7,773
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	8	20	23	51	-46	11	40	46	97	53	54	64	171	-47%	709
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	265	122	78	465	-51	285	127	104	516	480	218	222	920	-10%	4,674
5 感染性胃腸炎	118	55	78	251	-64	160	56	99	315	248	112	102	462	-20%	3,328
6 水痘	12	0	0	12	-7	11	7	1	19	1	18	13	32	-37%	103
7 手足口病	232	87	147	466	-87	363	144	46	553	66	8	44	118	-16%	1,187
8 伝染性紅斑	1	0	2	3	3	0	0	0	0	0	1	0	1	—	6
9 突発性発疹	8	8	8	24	1	9	5	9	23	3	8	14	25	4%	145
10 ヘルパンギーナ	7	34	35	76	-98	32	75	67	174	12	16	55	83	-56%	346
11 流行性耳下腺炎	0	1	0	1	-3	1	2	1	4	0	1	0	1	-75%	14
12 RSウイルス感染症	48	40	80	168	-94	111	20	131	262	90	14	91	195	-36%	699
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
14 流行性角結膜炎	4	0	1	5	-1	3	0	3	6	1	0	2	3	-17%	35
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-3	1	0	2	3	0	0	0	0	-100%	9
16 無菌性髄膜炎	3	0	0	3	1	1	0	1	2	3	0	1	4	50%	16
17 マイコプラズマ肺炎	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0%	3
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	6	0	7	—	11
合 計	1,366	830	1,151	3,347	16	1,545	719	1,067	3,331	1,070	552	826	2,448	0%	23,903

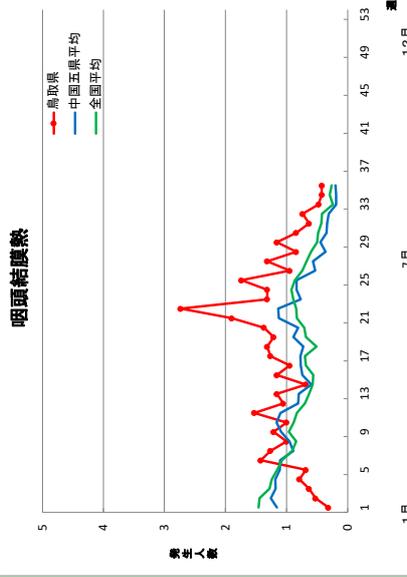
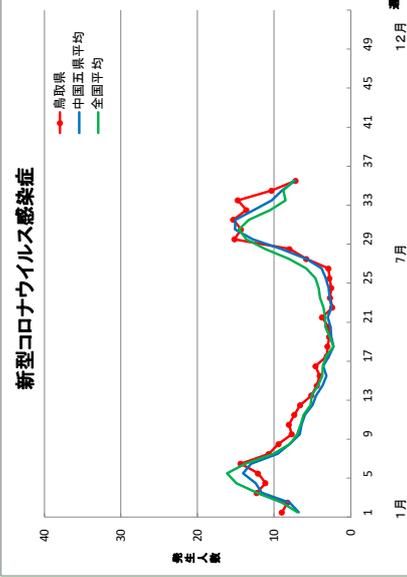
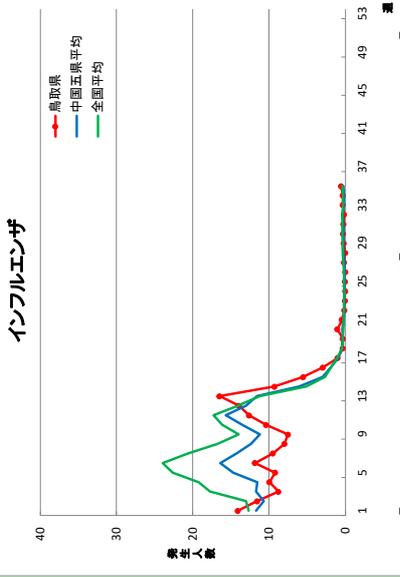
地区発生状況グラフ(定点当たり)



年次別発生状況グラフ(定点当たり)

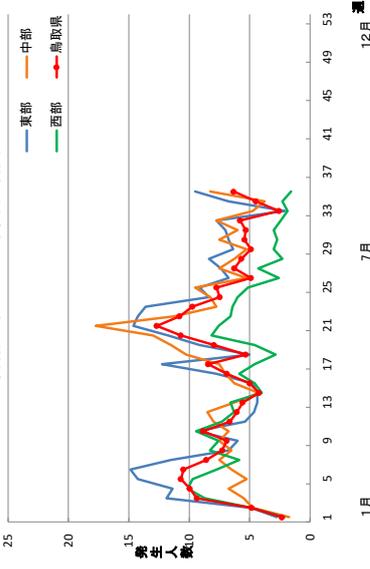


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

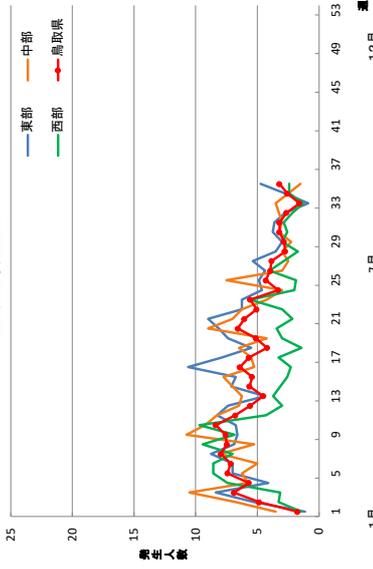


地区発生状況グラフ(定点あたり)

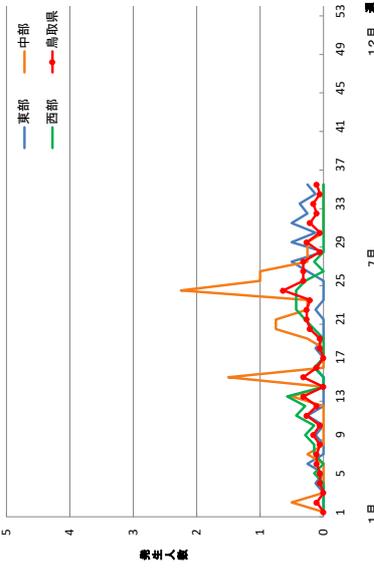
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

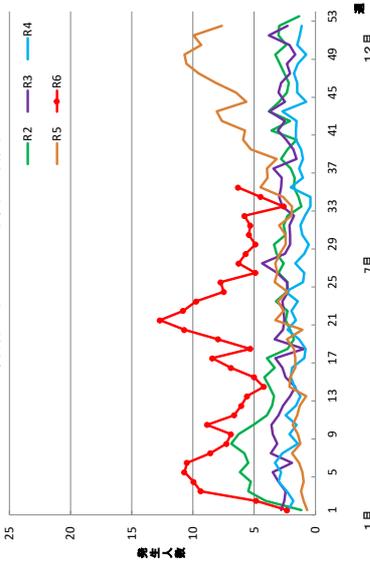


水痘

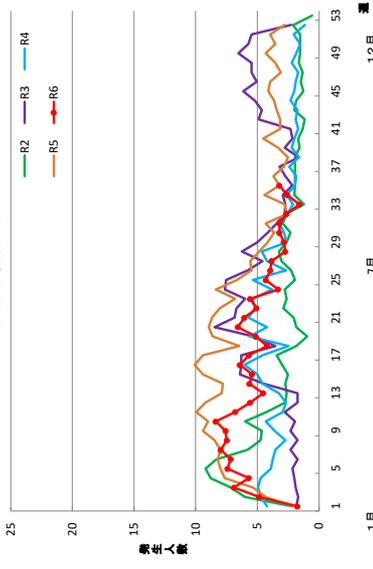


年次別発生状況グラフ(定点あたり)

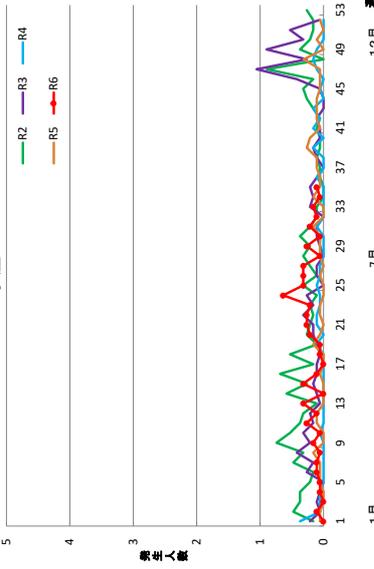
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



感染性胃腸炎

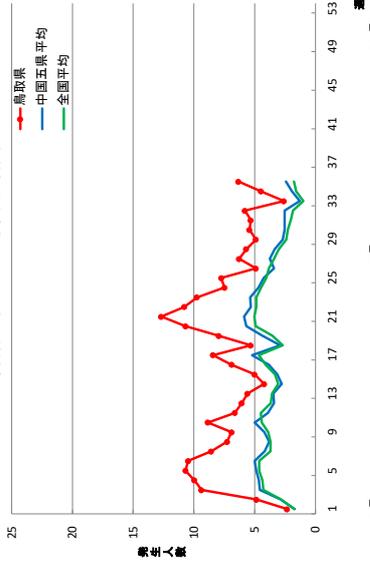


水痘

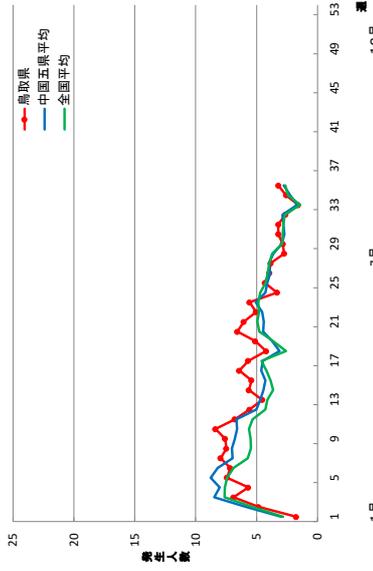


中国五県平均・全国平均との比較(定点あたり)

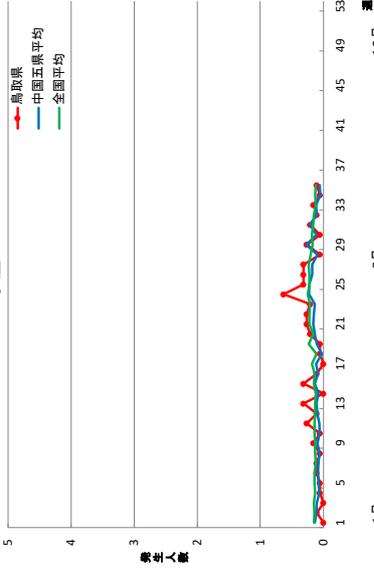
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



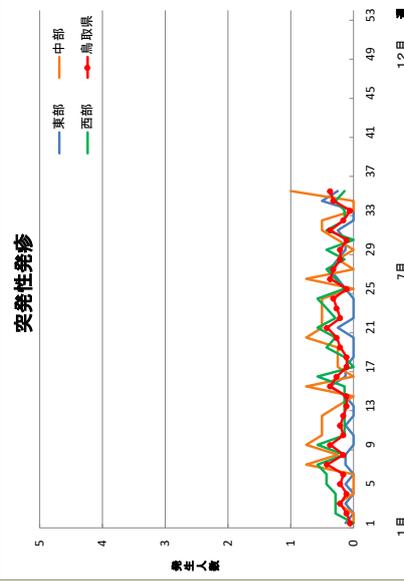
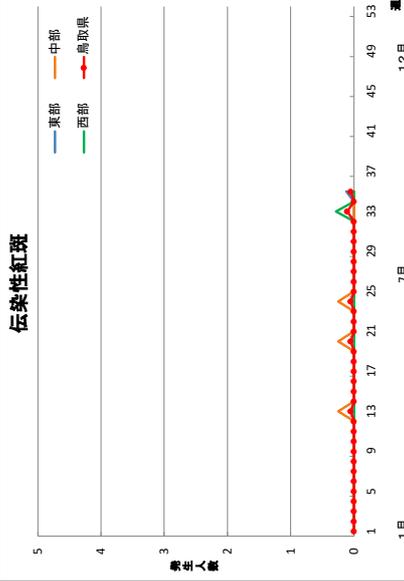
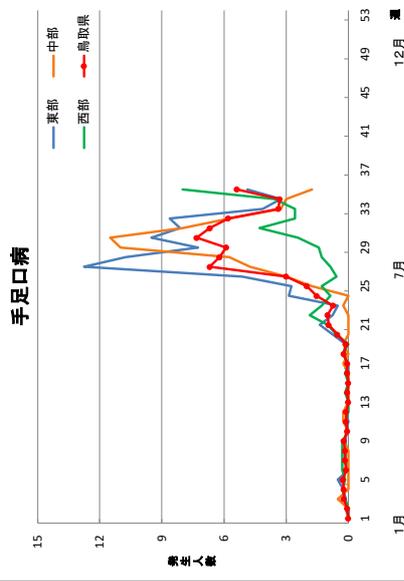
感染性胃腸炎



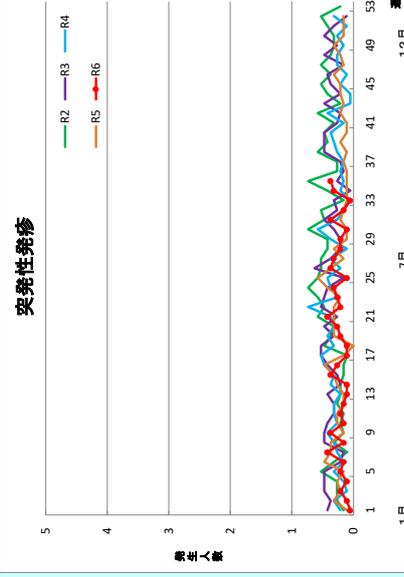
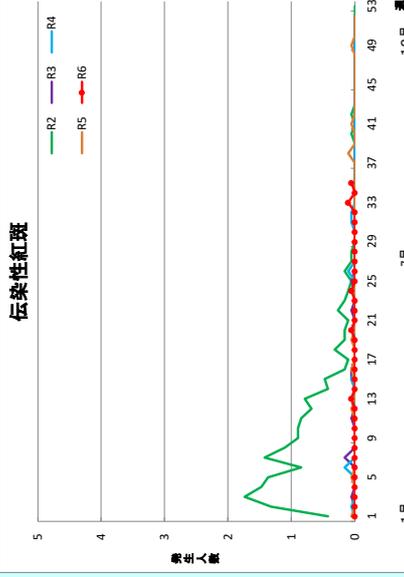
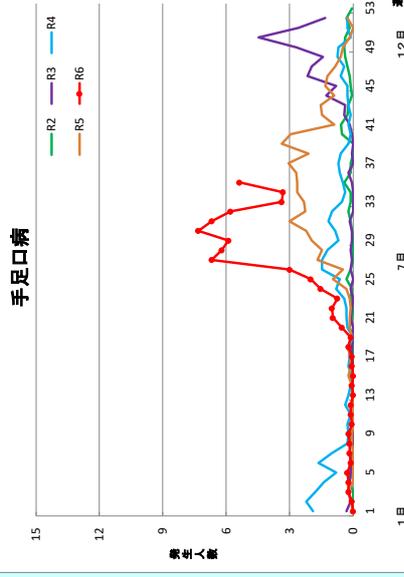
水痘



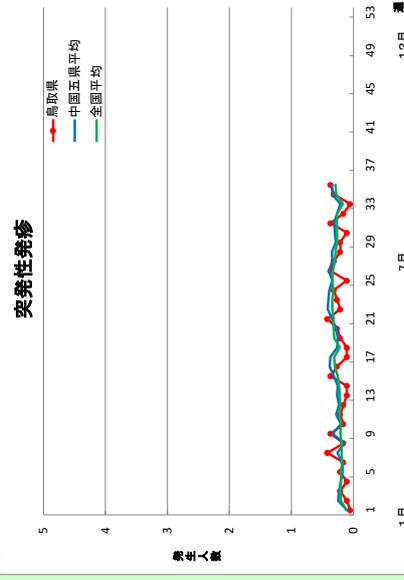
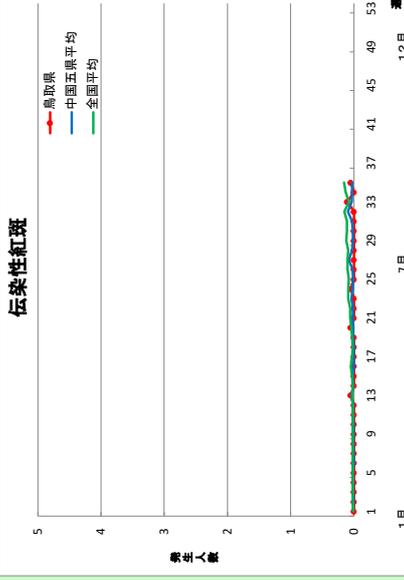
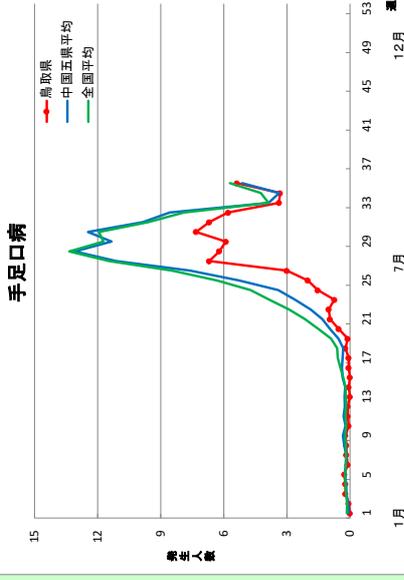
地区発生状況グラフ(定点あたり)



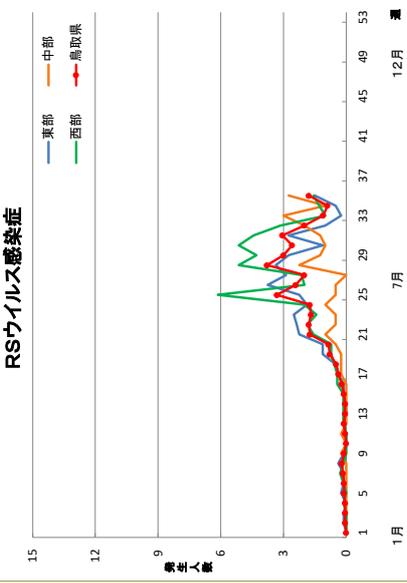
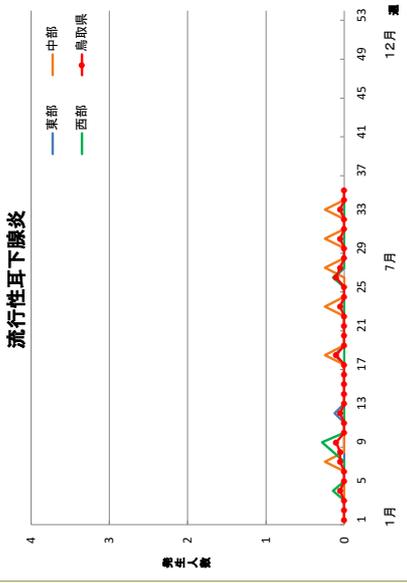
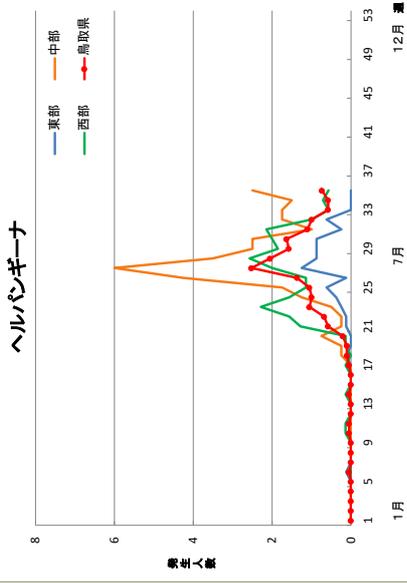
年次別発生状況グラフ(定点あたり)



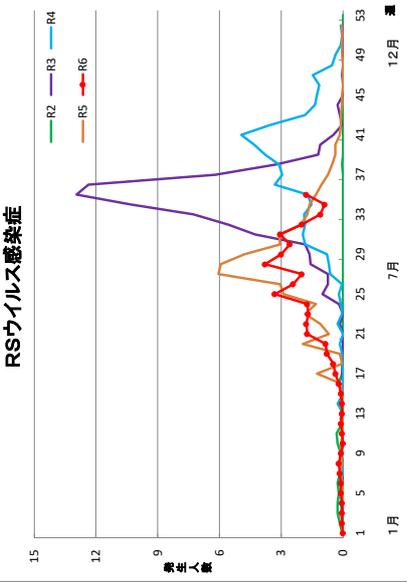
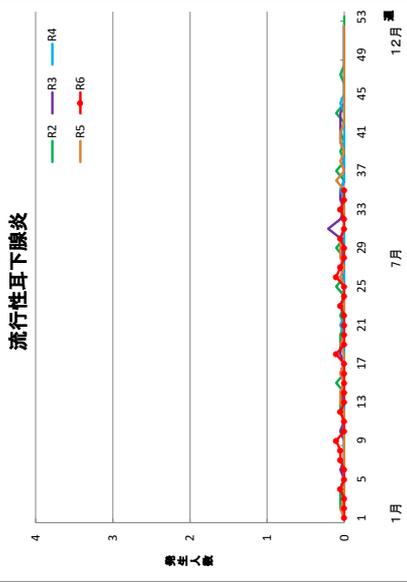
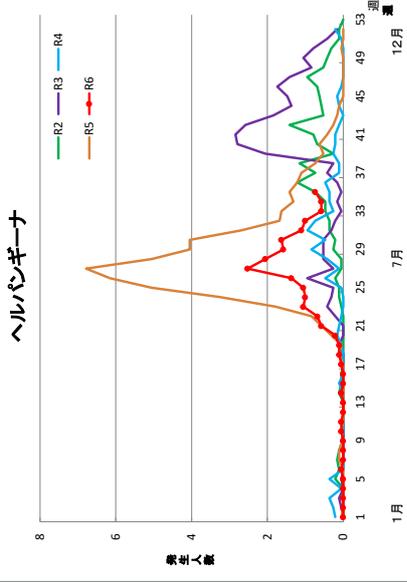
中国五県平均・全国平均との比較(定点あたり)



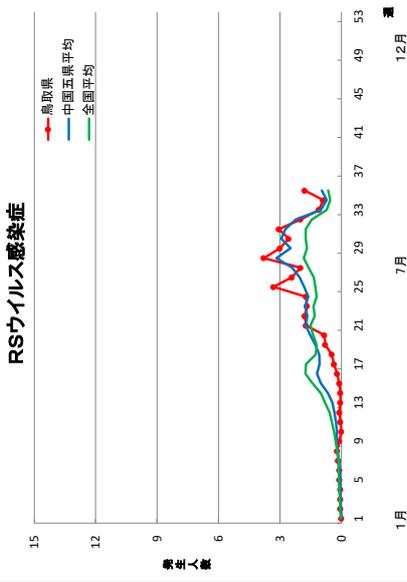
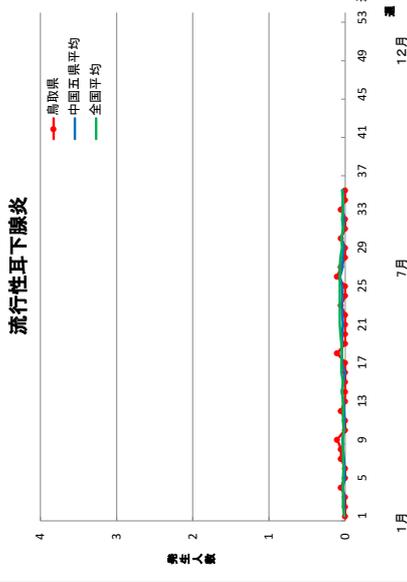
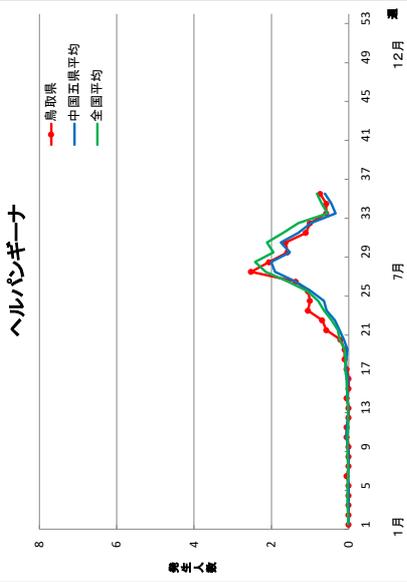
地区発生状況グラフ(定点当たり)



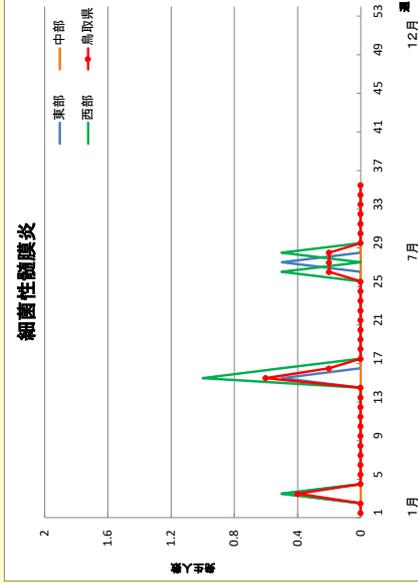
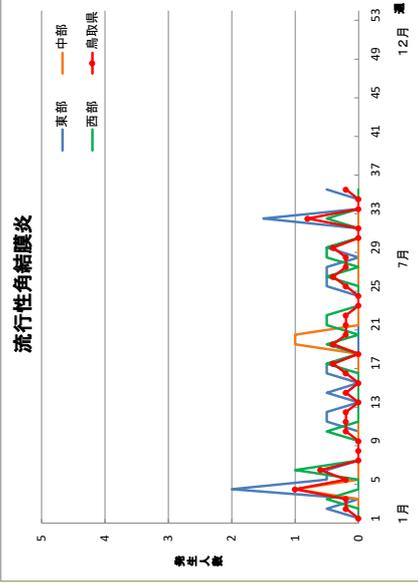
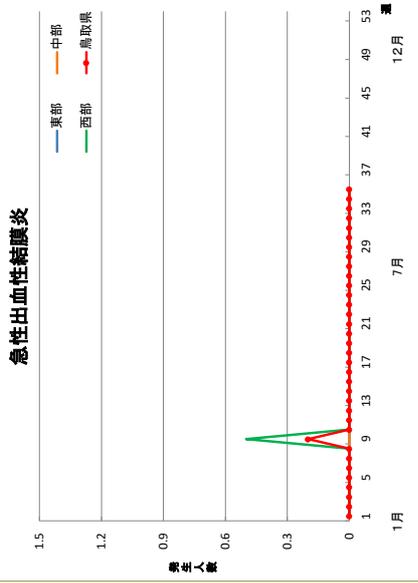
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



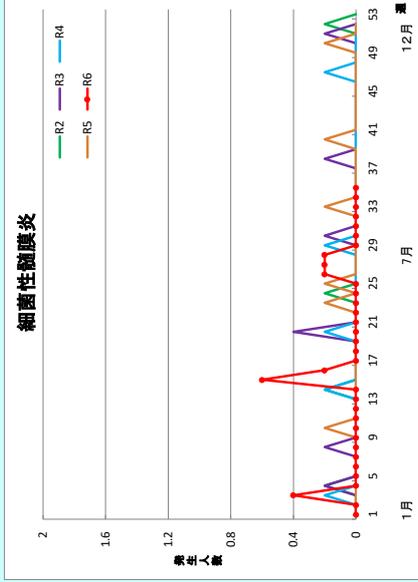
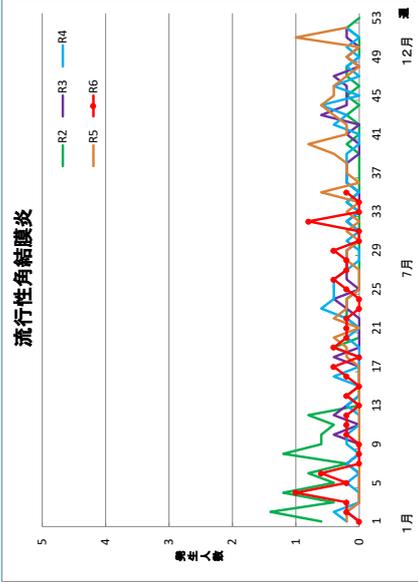
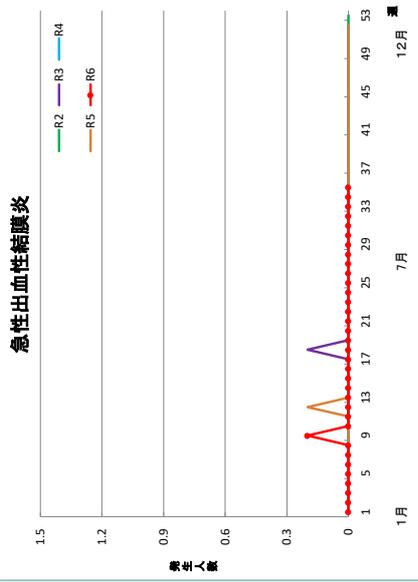
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



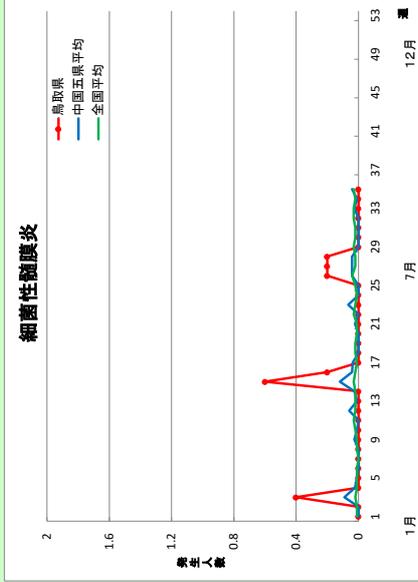
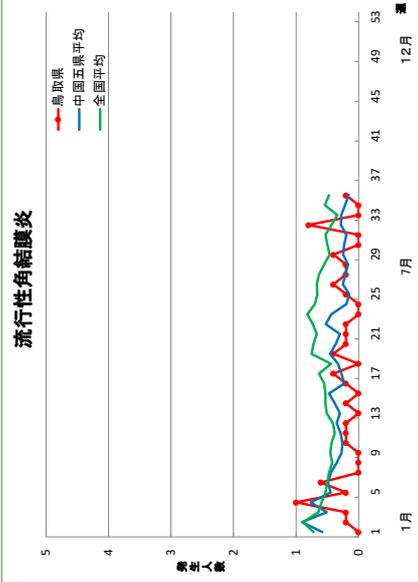
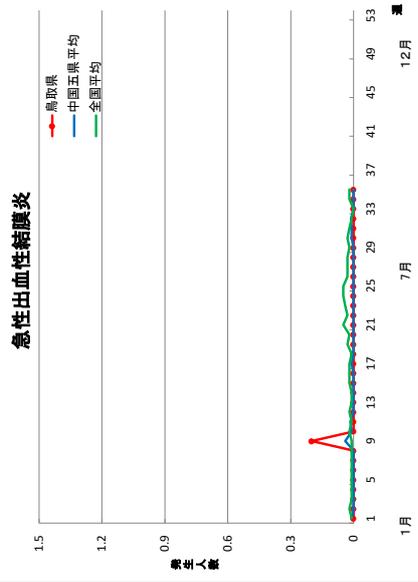
地区発生状況グラフ(定点あたり)



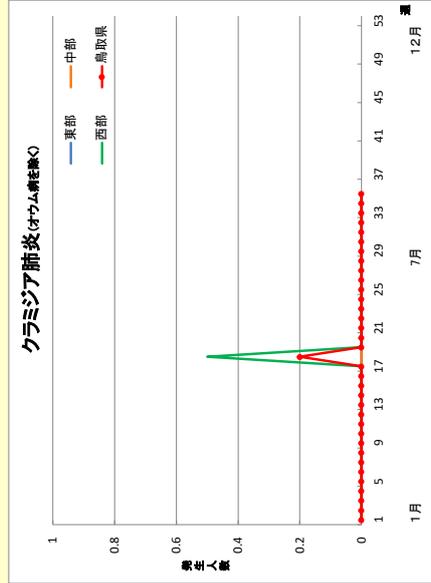
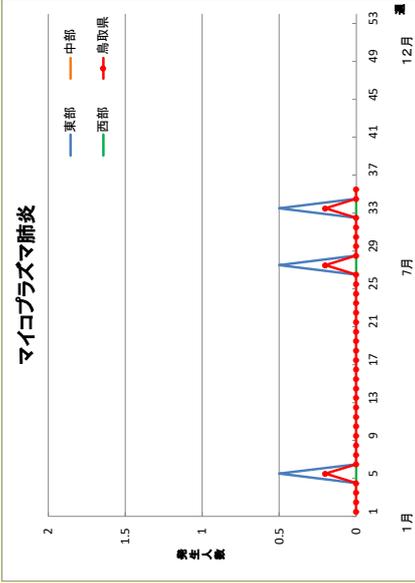
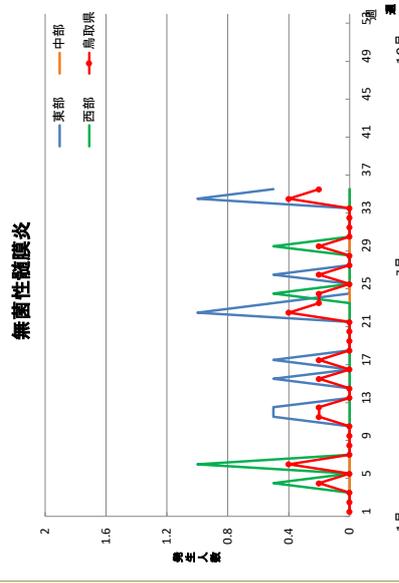
年次別発生状況グラフ(定点あたり)



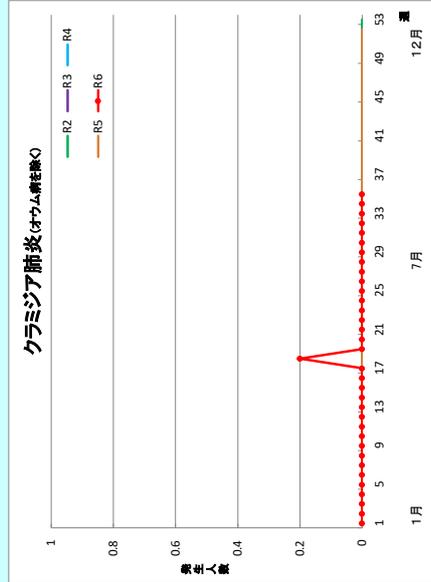
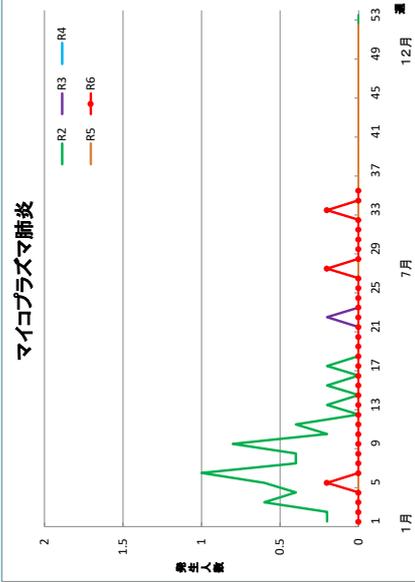
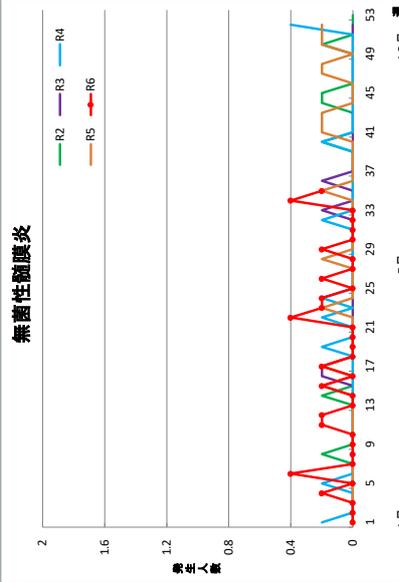
中国五県平均・全国平均との比較(定点あたり)



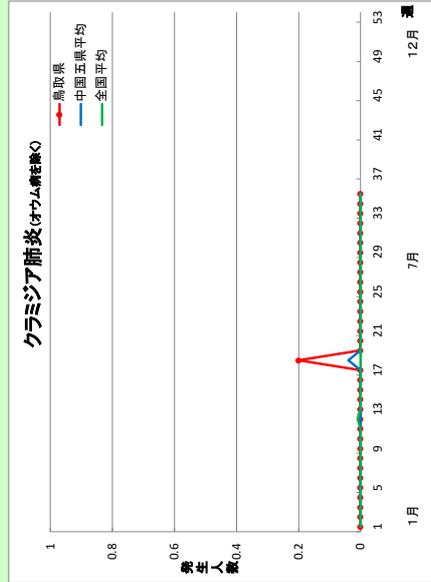
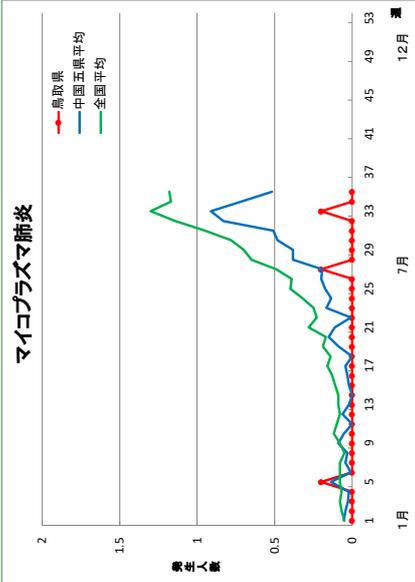
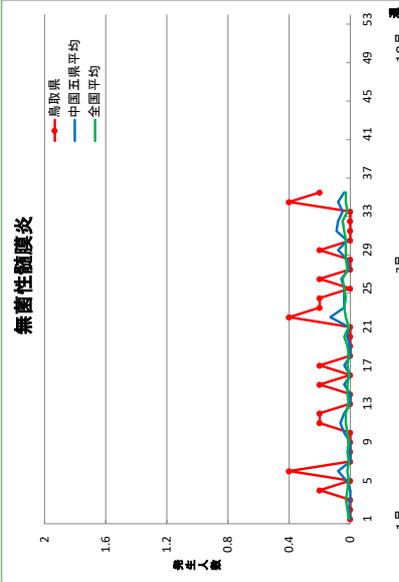
地区発生状況グラフ(定点当たり)



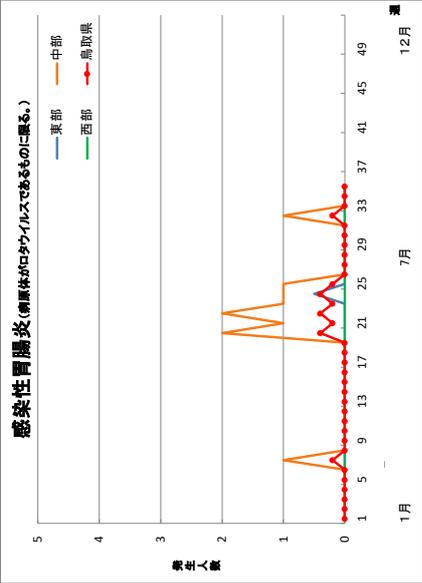
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



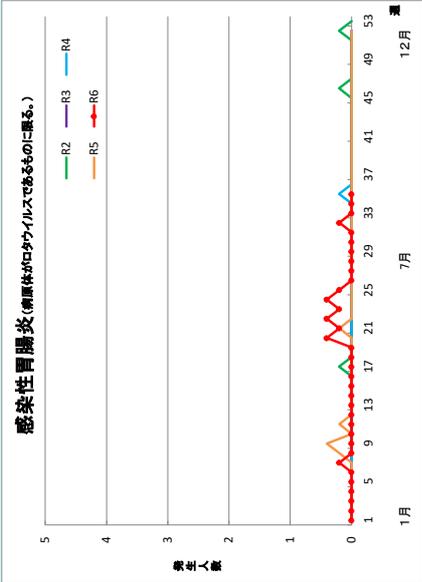
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



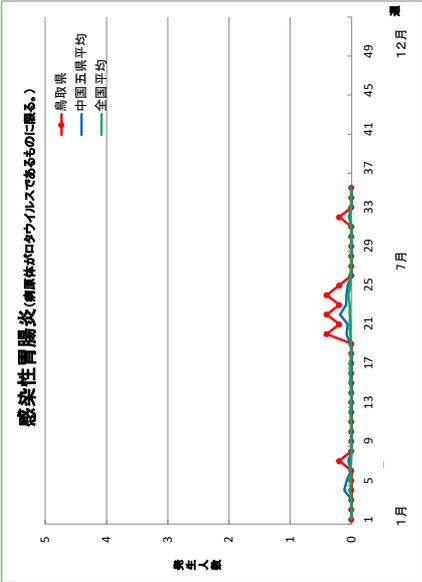
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)



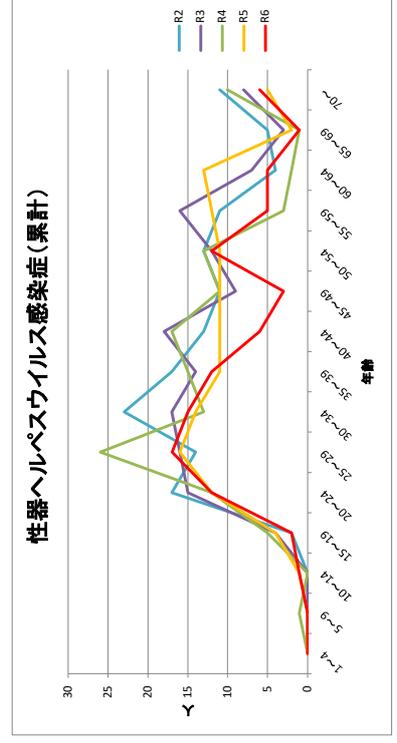
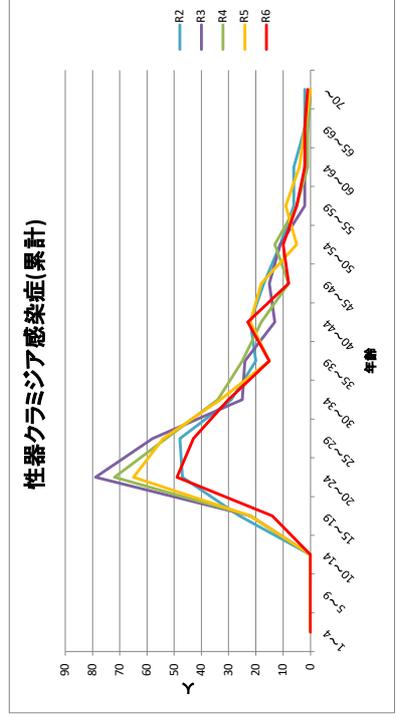
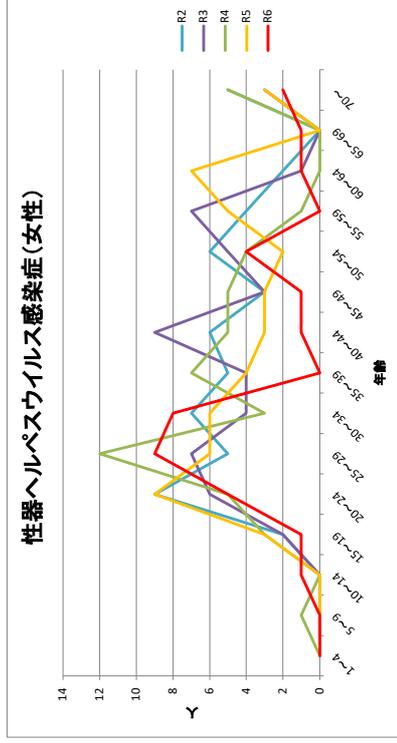
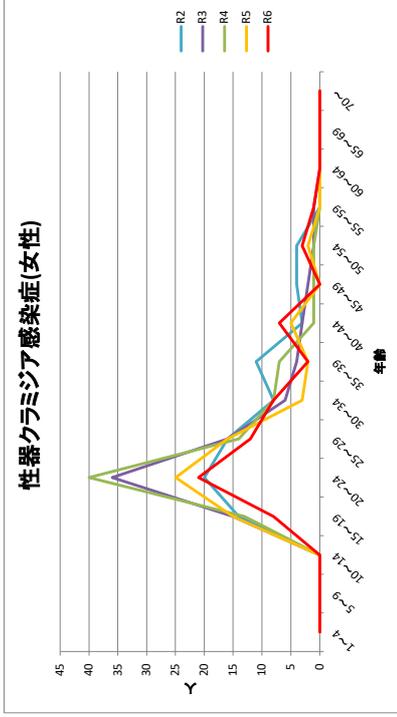
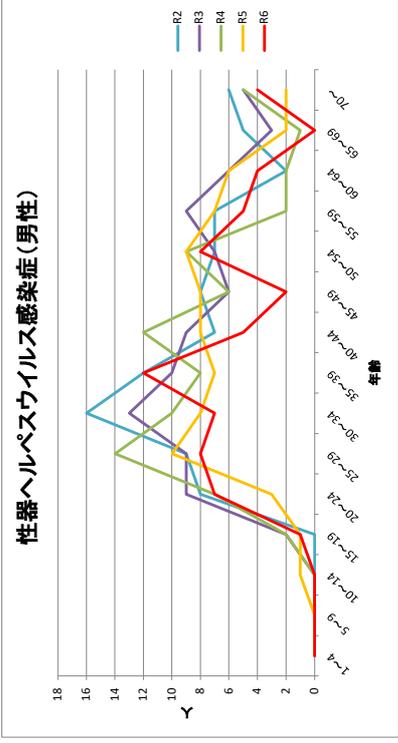
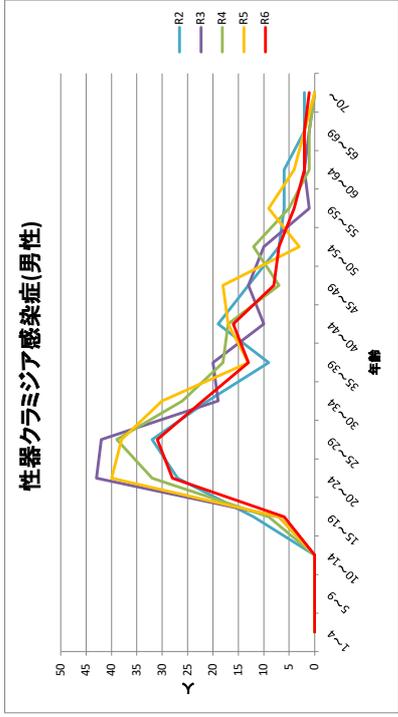
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



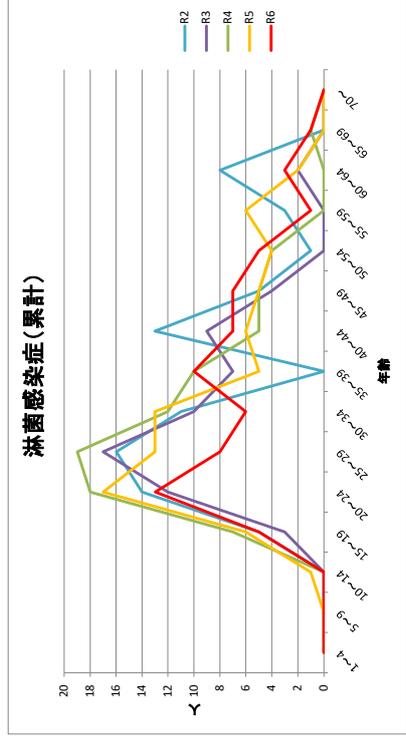
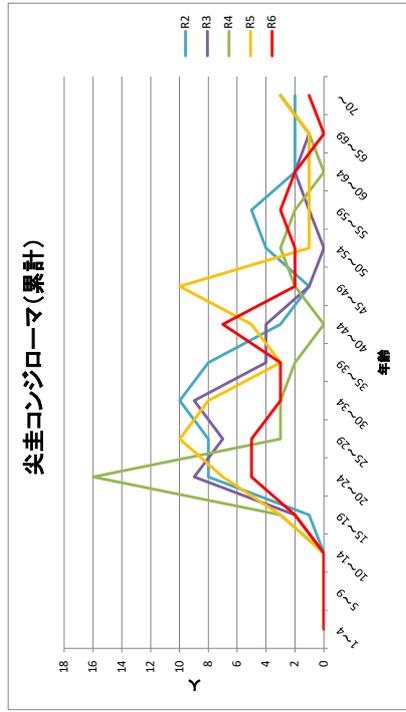
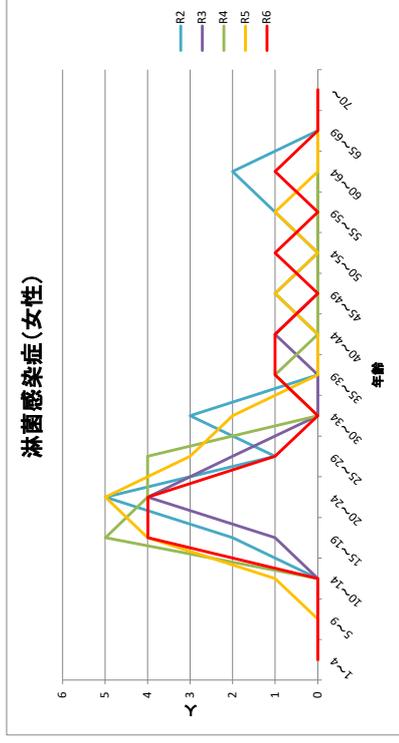
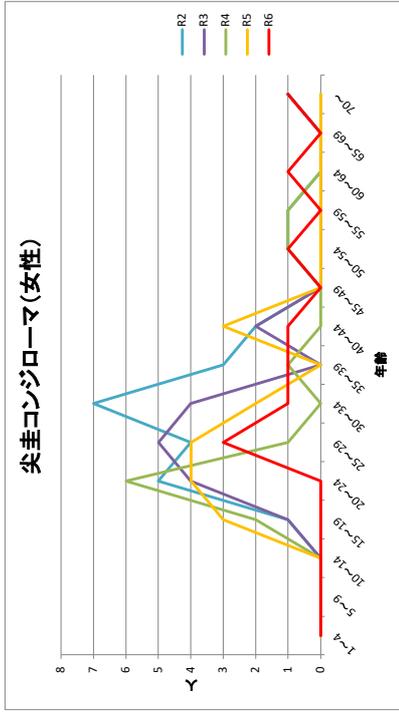
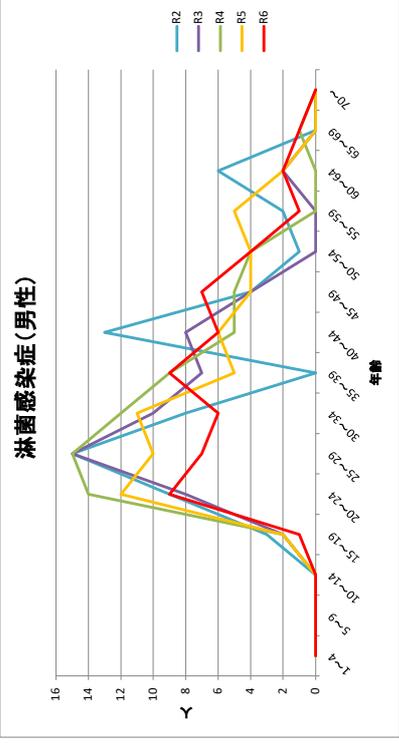
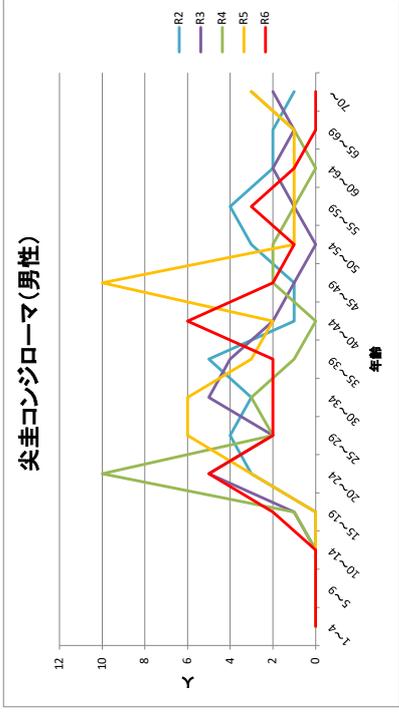
注)新型コロナウイルス感染症は、令和6年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。



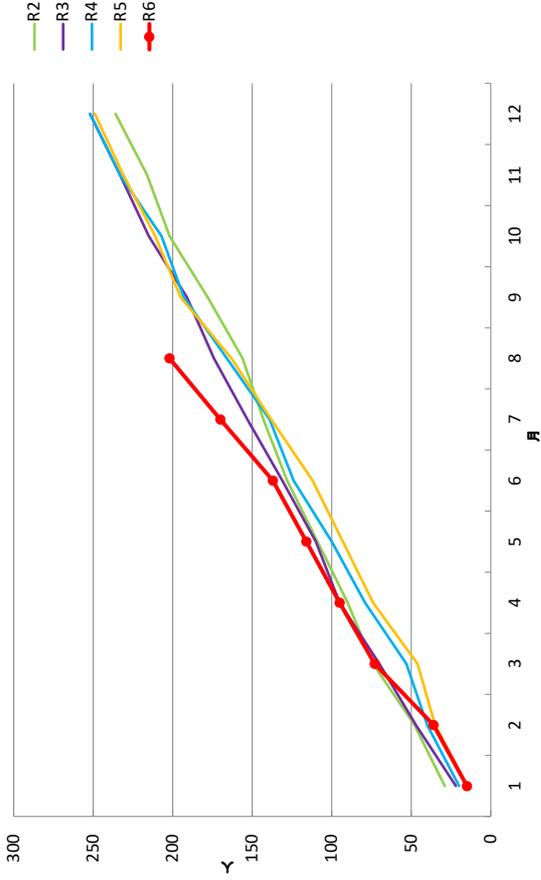
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



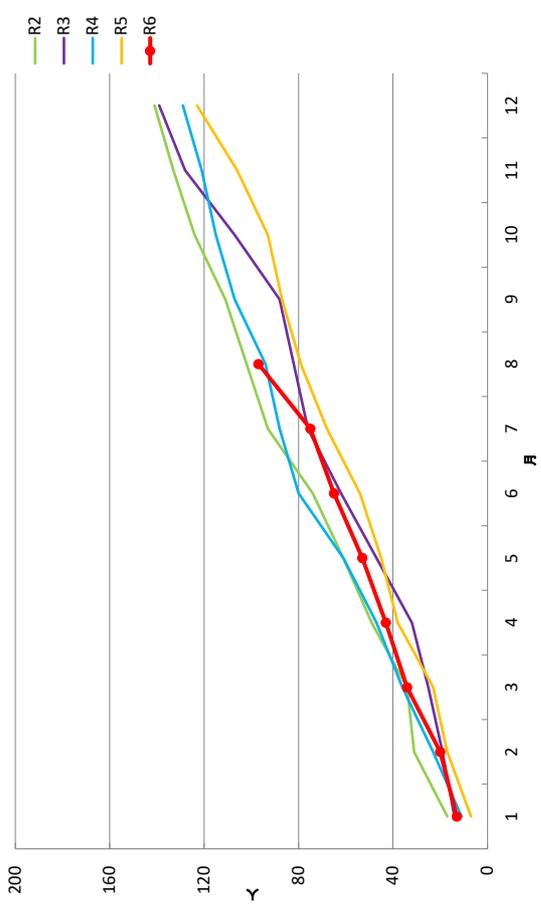
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



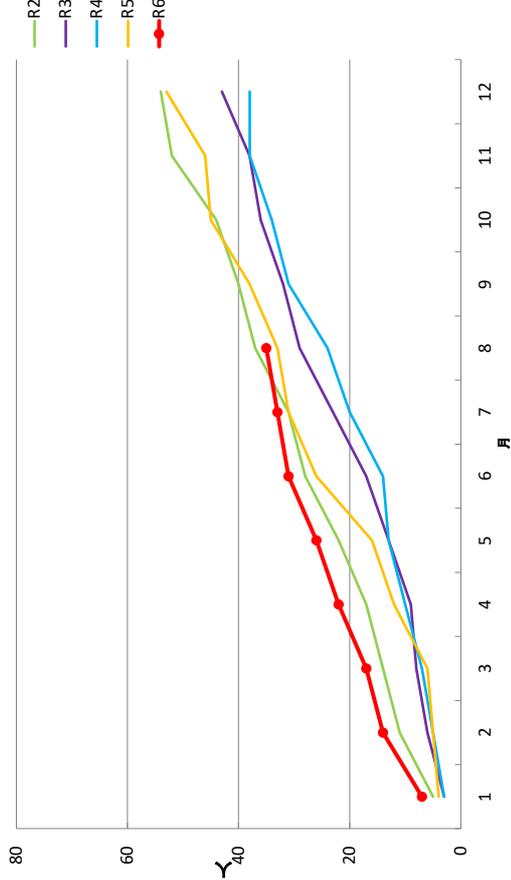
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



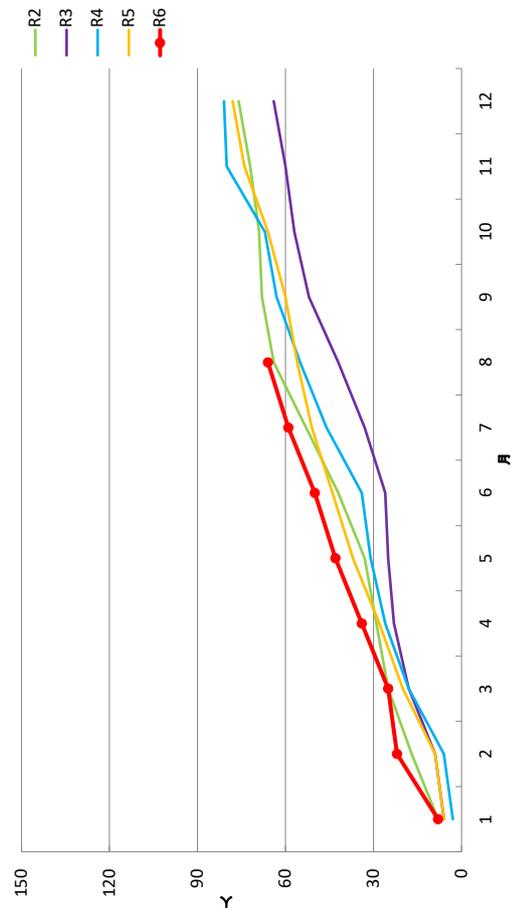
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



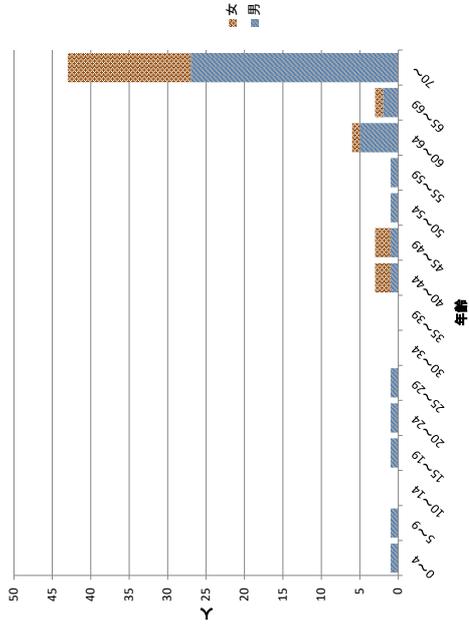
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



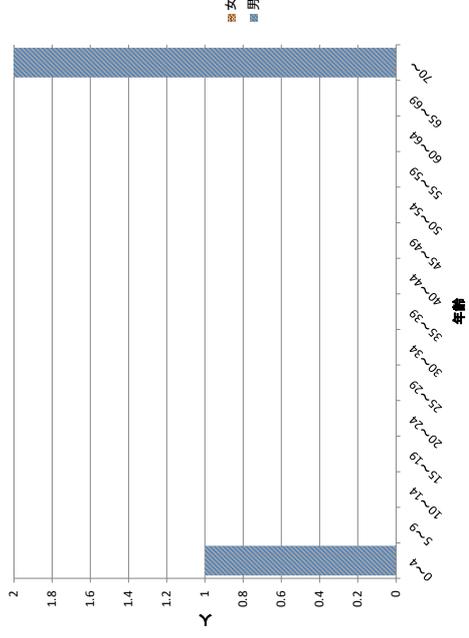
淋菌感染症報告状況(累計)



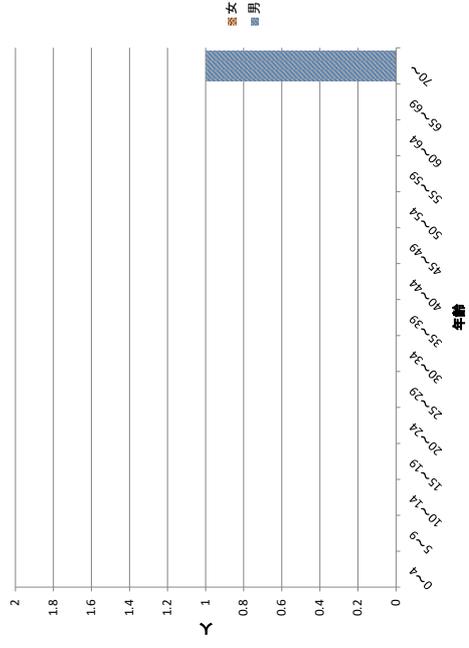
令和6年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
(年齢別累計)



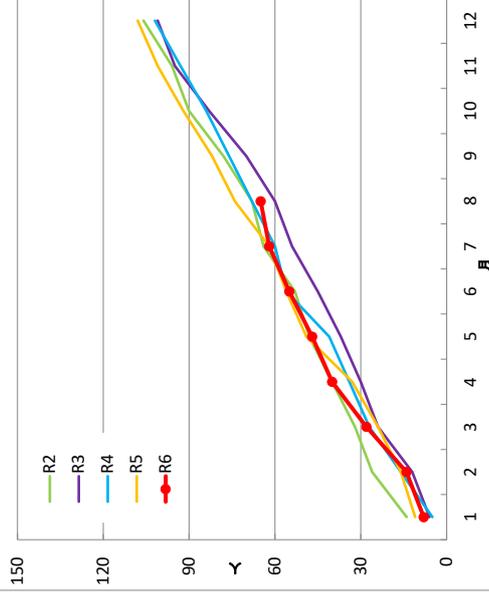
令和6年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
(年齢別累計)



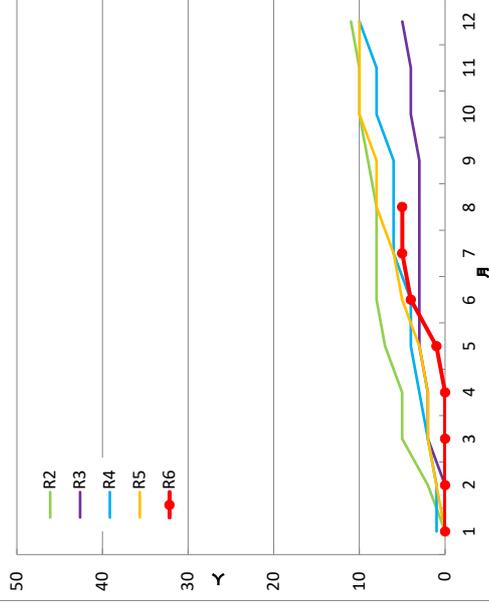
令和6年 薬剤耐性緑膿菌感染症  
(年齢別累計)



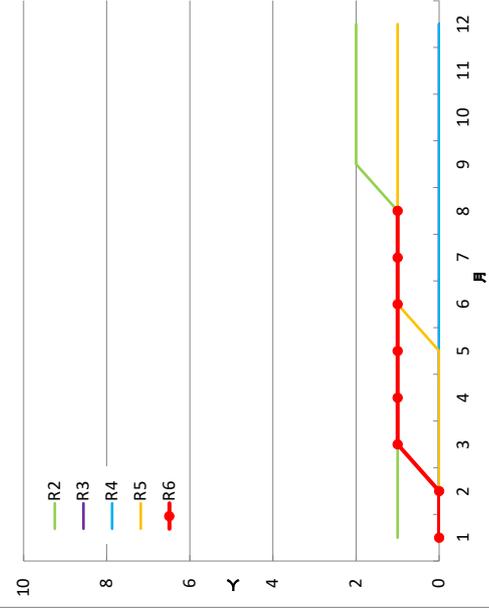
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)





腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													8月時点	年間	
令和6年		1	1		5 (2)	2 (1)	1 (1)	3						13 (4)	13 (4)
令和5年						1		5	9 (3)	2 (2)		2 (1)		6 (0)	19 (6)
令和4年		2 (2)				1	2	3				3 (1)	3	8 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)							10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1		15 (4)	26 (9)
令和元年		1	1 (1)		6 (1)	1	2		4 (1)	3 (2)	4	2 (2)		11 (2)	24 (7)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1				17 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1				4 (3)	1 (1)	16 (7)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1				1 (1)	14 (6)	16 (7)
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1			48 (32)	60 (39)
平成26年						7 (4)	1	1	1	5 (3)				9 (4)	15 (7)
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)				15 (4)	26 (7)
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1		8 (1)	15 (3)
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1		11 (5)	20 (8)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O55	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和6年		1		2 (2)				2					1 (1)	6 (1)	1	13 (4)
令和5年		1 (1)												17 (4)	1 (1)	19 (6)
令和4年						3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年						4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)			3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年						3 (1)		4 (1)						15 (3)	2 (2)	24 (7)
平成30年		2				3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1				2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)												14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)			1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)						5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)							1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年														15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)				2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和6年	3	1	1	1 (1)	2		1 (1)	1 (1)	2 (1)	1		13 (4)
令和5年	1	2 (1)	1	1	4 (1)	2 (1)	4 (3)	2			2	19 (6)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (3)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (7)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)		2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和6年		4	9 (4)	13 (4)
令和5年	3 (1)	7 (1)	9 (4)	19 (6)
令和4年	5 (1)	6	3 (2)	14 (3)
令和3年	4 (2)	3 (2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6 (2)	14 (3)	4 (1)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)
平成28年	2 (1)	12 (5)	2 (1)	16 (7)
平成27年	4 (4)	45 (31)	11 (4)	60 (39)
平成26年	1	8 (4)	6 (3)	15 (7)
平成25年	4 (1)	9 (3)	13 (3)	26 (7)
平成24年	7 (2)	1	7 (1)	15 (3)
平成23年		2 (1)	18 (7)	20 (8)

# 鳥取県病原微生物検出情報（令和6年8月検出分；検体採取 令和6年6,7,8月）

令和6年9月13日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザ様疾患の検体1件（検体採取8月上旬）について検査を実施したところ、インフルエンザウイルスは検出されなかった。全国のインフルエンザ病原体定点においても、5月中旬（21週）以降はほとんど検出されていない（図1）。

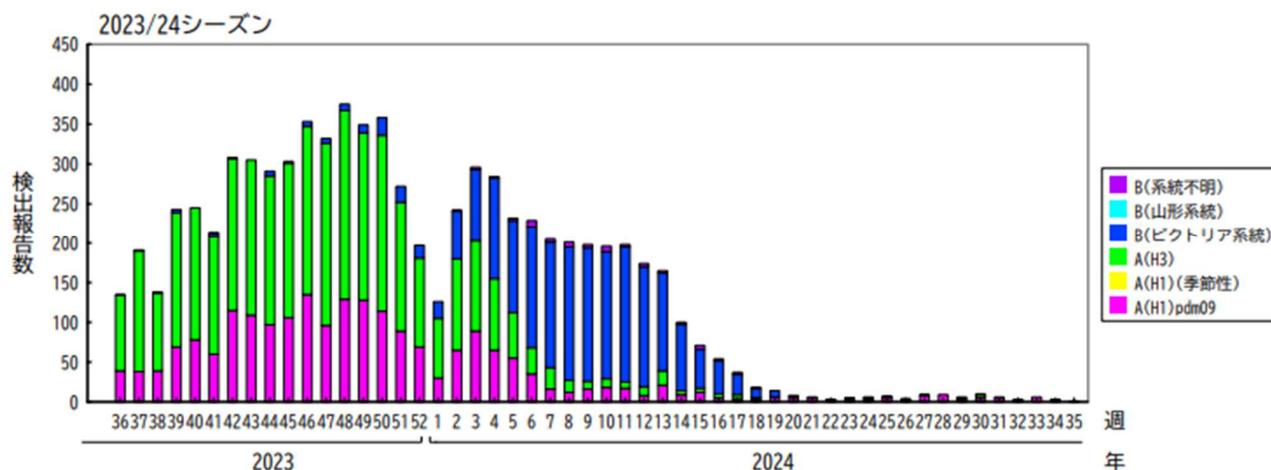


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2023/24シーズン）

出典：国立感染症研究所病原微生物検出情報

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体2件について検査を行ったところ、1検体からアデノウイルス（型不明）が検出された。他の1検体はノロウイルス、サポウイルス、A群ロタウイルス、C群ロタウイルス、アデノウイルス（40/41型）、アストロウイルスのいずれも検出されなかった。

## 3 ヘルパンギーナ

臨床診断名がヘルパンギーナの検体2件について検査を行ったところ、1件からエンテロウイルス（型不明）が検出された。1件からは原因となるウイルスは検出されなかった。

## 4 流行性耳下腺炎

臨床診断名が流行性耳下腺炎の検体1件についてムンプスウイルスの検査を実施したところ、原因となるウイルスは検出されなかった。

## 5 無菌性髄膜炎

臨床診断名が無菌性髄膜炎の検体1件についてアデノウイルス、エンテロウイルス、ムンプスウイルス、ヘルペスウイルス1～7の検査を実施したところ、原因となるウイルスは検出されなかった。

# 新型コロナウイルスゲノム解析結果

令和6年9月13日  
鳥取県衛生環境研究所

- 検体搬入日：2024年8月7日（水）、8月21日（水）
- 解析件数：177件（搬入件数：193件 重複やCT値>30等の検体を解析から除く）
- 結果概要：KP.3系統（JN.1亜系統）：138件（95%）（解析不能は計算から除外）  
LB.1系統（JN.1亜系統）：3件（2%）（県内初検出）

表1 鳥取県新型コロナウイルスゲノム解析結果（検体採取日：7月4日～8月20日）

系統	Lineage (pangolon)	件数	備考	前回の検出数	
KP.3系統	KP.3	11	JN.1の亜系統	1	
	KP.3.1系統	22		8	
	KP.3.2系統	2		5	
	KP.3.3系統	103		87	
KP系統(KP.3以外)	KP.1系統	1		1	
	KP.2系統	2		2	
LB.1系統	LB.1.2	1		0	
	LB.1.3	2		0	
組換え体(XBB以外)	XDQ.1	1		XDQの亜系統	1
	XDV.1	0		XDVの亜系統	1
EG.5系統	EG.5.1.1	0	XBBの亜系統	2	
JN.1系統(KP.3以外)	JN.1系統	0	BA.2.86.1の亜系統	3	
JN系統(JN.1以外)	JN系統他	0		1	
	解析不能	32		8	
	合計	177		120	

※赤字の系統：現在流行中の注目すべき変異株(VOIs)(WHO指定)(2024.6.28更新)→BA.2.86系統, JN.1系統  
※青字の系統：現在流行中の監視下の変異株(VUMs)(WHO指定)(2024.7.19更新)→JN.1.7, KP.2, KP.3, KP.3.1.1, JN.1.18, LB.1

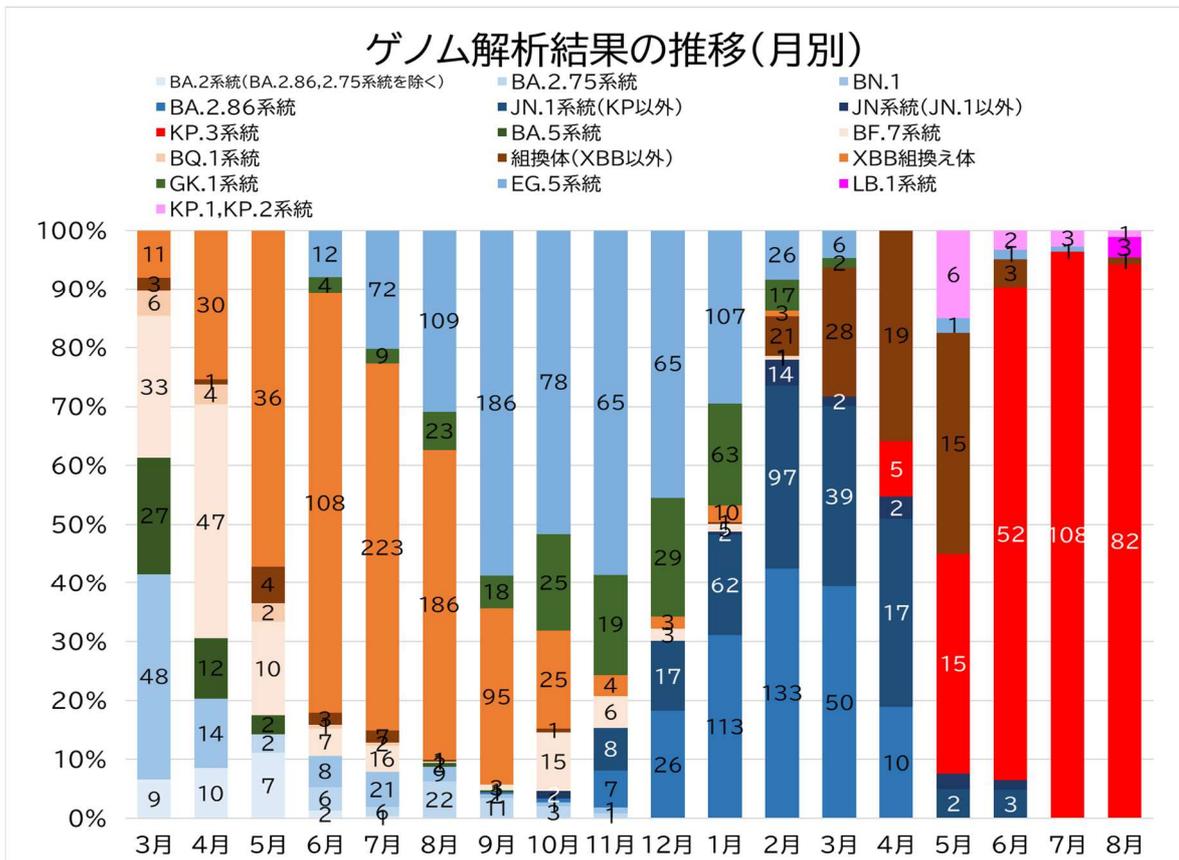


図1 月別新型コロナウイルスゲノム解析結果 (2023/24 シーズン)

